



2025(令和7)年度 学校だより (令和7年5月22日発行)

きぬぎむ

栃木県小山市立絹義務教育学校 〒323-0155
TEL 0285-49-0141 FAX 0285-49-2764
e-mail kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

栃木県小山市大字福良2240番地1

発行者 校長 中島 康成



今年は、比較的過ごしやすい日が多かった5月ですが、月末を迎え、暑さも厳しさが増してきました。今年度より、衣替えの期日を指定せず、天候等に応じた服装の切り替えを呼びかけています。ご家庭でも、お子様方への声かけをお願いします。

4月の引き渡し訓練、授業参観・学級懇談・総会等では、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。5月24日の運動会に向けて、子どもたちは精一杯練習に励んでいます。当日は、ぜひ多くのご家族の皆様においでいただき、お子様の応援や地域種目への参加をお願いいたします。



歴史学習（6年）

4月15日、小山市立博物館を訪問し、郷土小山の歴史を学びました。博物館の先生の解説を聞きながら、国指定遺跡「乙女不動原瓦窯跡」の見学、博物館の展示物である古代の住居や土器などの見学、そして火起こし体験を行いました。社会科で学ぶ「日本の歴史」の学習に生かしていきましょう。



1年生を迎える会

5月2日、1年生から9年生まで全児童生徒が参加する「全校共遊」として、1年生を迎える会を開催しました。今回は、5・6年生が企画・運営を行いました。花のアーチの準備、司会進行、なかよし班での自己紹介、ゲームのルール説明や進行等を主体的に行っていました。特にルール説明は、コントのような楽しい趣向を凝らしたものでした。1年生から9年生が交流を深め、楽しい時間を過ごすことができました。



心肺蘇生法講習会

5月7日、本校の教職員が心肺蘇生法の研修を行いました。万が一の時にも、素早く適切な行動が取れるよう、毎年実施しています。今年度は、絹分遣所の消防士に加え、本庁からも3名来校いただき、心臓マッサージやAEDの使用法の実習に加え、実際に119番に電話する通報訓練も行い、緊張感のある研修となりました。子どもたちの安心・安全を第一に、全教職員で学校生活を支えています。



児童生徒総会・JRC入団式

5月9日、5～9年生が体育館に集まり、児童生徒総会を開催しました。1～4年生は、各クラスで説明を聞き委任状を提出しています。



9年IKさん、EKさんの議事進行のもと、今年度の活動テーマ「挑戦～九転十起可能性ヘトライ～」が採択されました。「七転び八起き」よりもさらに強い意志と粘り強さをもって何度でも挑戦し続けていこうと呼びかけました。子どもたちが勇気をもって挑戦し、可能性を伸ばしていけるよう、支援していきます。

総会に引き続き、7～9年生は、青少年赤十字（JRC）入団式を行いました。「健康安全・奉仕・国際親善」という実践目標と「気づき・考え・



実行する」という態度目標を確認し、宣誓書に各クラス代表が署名しました。「愛と勇気の学校」の実現にもつながる優しさと主体的な行動力の育成につなげていきたいと思っています。

田植え（5年）

5月14日、認定こども園のぶしま幼稚園の年中・年長児といっしょに、「田んぼの学校」の開校式と、田植えを行いました。



今年は、田の泥が深く、足を取られることが多かったのですが、5年生の子どもたちは園児の手助けをしながら、どろんこになりながらも丁寧に苗を植えていきました。



2株の苗が成長すると、1膳分のお米が収穫できると説明を受け、秋の稲刈りをととても楽しみにしている様子でした。水田を提供していただいた田主様、田んぼの学校実行委員の皆様、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

蚕お迎え式（1・2年）

5月18日、JAおやま様より、今年も稚蚕を贈呈していただきました。養蚕・本場結城紬を通して絹の文化と歴史を学ぶ「ふるさと学習」のスタートです。

5月20日には、1・2年生が「蚕お迎え式」を行い、講師の先生のご指導により、初めての給桑を体験しました。稚蚕はここまで合成飼料で育てられてきたので、この日、初めて新鮮な桑の葉を食べることになりました。これから収穫までのおよそ1か月間、子どもたちが交代で桑の葉を与え、大切に育てていきます。立派な繭になることを願っています。



【絹義務教育学校ホームページ】に掲載しています。
写真等も鮮明にご覧いただけますので、ぜひご確認ください。

<https://www.city.oyama.tochigi.jp/school/compulsory-school/kinu/>

